

かんがい用水を利用したハウス内土壌の環境配慮消毒技術の確立 ～殿畑 葵氏～

経営体の概要

農業従事当初：平成19年頃

基幹作物：うめ、
うすいえんどう（ハウス）

経営面積：うめ10～30 a、ハウス40 a（15棟）

現在：令和5年

基幹作物：うめ、カスミソウ（ハウス）

経営面積：うめ2.5ha、ハウス40 a（15棟）

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

●天水や谷水等の不安定な水源にたよっていた。

●畑地かんがい施設が未整備で、農業の近代化が図れなかった。



島ノ瀬ダム工事前



辺川頭首工改修前

【事業実施後】

●前歴事業（昭和48年度～平成7年度）で、島ノ瀬ダム等の新設、辺川頭首工の改修で、水源を確保。関連事業等において支線用水路の敷設やスプリンクラーを設置し、畑地への散水や防除等に使用でき省力化が図られた。

●本事業で老朽化した施設の改修等を実施することで引き続き農業用水を安定供給。

営農改善、経営転換等のポイント

①栽培技術の確立

カスミソウを栽培するハウス内の土壌消毒に当たっては、国営土地改良事業等により供給される農業用水を活用。カスミソウの収穫が終わった5月中旬～8月下旬に農業用水をハウス内に散布、ビニールシートを敷き、2～3週間太陽光のみを利用して土壌を加熱することで、農薬を使わない環境に優しい土壌消毒を実施している。

うめのかん水については、次年度の収穫を考慮して、樹勢をみながら、降雨の少ない夏場にかん水を実施し、樹勢の維持が図られている。



カスミソウ

②省力化

うめの実を選別する際には、選別機を導入して、作業の効率化を図っている。また、選別機へ収穫したうめの実を持ち上げるために昇降機を導入している。選別を行ったうめの実ベルトコンベアーでうめの実を浸けるタンクまで運搬することで、人的労力の軽減を図っている。



選果機



ベルトコンベアー

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：和歌山県田辺市及びみなべ町

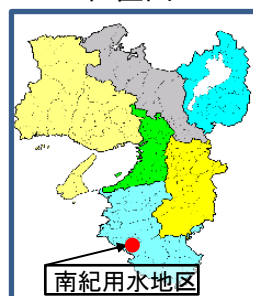
受益面積：1,790ha

事業期間：昭和48年～平成7年

事業目的：用水改良、畑かん 等

主要工事：ダム1箇所、頭首工改修1箇所、
用水路L=27.9km、揚水機改修4箇所

位置図



<問い合わせ先>

近畿農政局

農村振興部農地整備課

電話：075-451-9161

（内線2528）

（令和6年度調査時点）